

# 日記や作文を書くコツ「7つのポイント」

## か・き・く・ぐ・り・た・か

### ▽「か」会話を入れる

できれば、二行以上の長い会話を思い出して書く。  
自分と友達、友達同士、先生と生徒の会話など

### ▽「き」気持ちを、文の途中にも書く

作文の結びだけでなく、途中にも思ったことを書く。  
事実のところどころに自分の思ったことを入れる。

### ▽「く」くらべる

自分と友達、最初と最後、きのうと今日、前回と今回を比べ、  
違いや変化を書く。

### ▽「ぐ」ぐたいてきに

定型の「おもしろかった」、「たのしかった」は避ける。  
具体的に、何が、どう、おもしろかったのかを書く。

### ▽「り」理由を書く＝「どうしてかという」と

なぜ、そうしたか、そうなったのか、その理由を書く。

### ▽「た」たとえをいれる

「まるで」「みたい」「〇〇のようだ」という言葉を使って、  
わかりやすい比喩を入れる。

### ▽「か」書き出しに結論を書かない

出来事が起きた順に、自分が感じたままに、書いていく。  
場面、光景から書くことで、臨場感が伝わる。

### <例文1>

きょうは、うんどう会がありました。  
わたしは、玉入れと100メートル走に出ました。  
玉入れは、まあまあ、うまくでき、赤ぐみにかつことができました。  
100メートル走では3ばんになりました。  
らい年は、1ばんになりたいと思いました。  
つかれたけれど、楽しかったです。

~~~~~

### <例文2>

パーン。  
ピストルの合図とともに、わたしは、かごの下に走りました。  
お手玉をひろっては、かごに向かってなげました。  
1つ、2つ、3つ。  
さいしょは、いくらなげても、かごには入りません。  
どうしてかという、わたしは、あまりボールなげも  
とくいではないからです。  
太郎くんが、  
「1つずつじゃなく、3、4こ、まとめてなげると、いいよ」  
とおしえてくれました。  
言われたとおり、3つまとめてなげると、1こ入りました。

さかなも、1ぴきずつ、つりざおでつろうとすると、  
なかなかとれないけれど、  
さかなのいそうなところに、あみをなげると、  
いっぱいとれるのとおなじだなおもいました。

こんどは、4こまとめてなげたら、2こ入りました。  
わたしはうれしくなって、玉をりょう手いっぱいにあつめ、  
えいと、ほうりなげました。3こも入りました。  
まわりの友だちも、おなじように、まとめてなげています。  
かごには、どんどんと玉が入っていきます。  
パーン。  
おわりの合図がなりました。  
入った玉を先生がかぞえるのを聞きながら、けっかをまちました。

102たい76。  
大しょうりでした。  
わたしは太郎くん「ありがとう」と言いながら、  
とびはねてしまいました